

講義コード	1BD0120001
講義名称	フィールドワーク 01<秋>
科目英文名	Fieldwork
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2320
単位数	2.0
時間割	秋学期: 土曜日 4 時限
講義開講時期	秋学期

## 担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 濱島 敦博	火曜日4限	hamashi@andrew.ac.jp	あべのBDL 5 G

授業形態	講義	アクティブラーニング	プレゼンテーション
	グループワーク	フィールドワーク	

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	プレゼンテーション(発表)	協同・協調学習(グループ・ワーク、チームワーク、ペアワーク)	フィールドワーク

講義・演習概要	<p>ビジネスの仕組みづくりには、個人の消費行動から企業の経営戦略まで幅広く関心を持ち、そこに内在する課題を見つけ、課題の要因と解決方法を探求することが必要である。そのためには、「フィールドワーク」と呼ばれる現地調査の知識やスキルが欠かせない。本講義では、個々の経済主体や企業へのインタビュー調査やアンケート調査など、フィールドワーク調査の基礎知識や技術を学ぶ。受講生には、実際にフィールドワークに取り組んでもらう。</p>
学習(到達)目標	<p>本科目では、ディプロマポリシーに掲げる、「取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策をビジネスとしてつくり出す力」を身につけることができる。詳細については、下記の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) フィールドワークの意義や特徴を各種調査との比較のなかで理解する</li> <li>2) フィールドワークを通じて社会経済的な課題を見抜く力を身に付ける</li> <li>5) フィールドワークの一連の手法、具体的には、事前情報の収集、調査の計画、調査の実施、調査結果の整理・発表等の方法を修得する</li> </ol>

## 講義・演習計画

回	内容
第1回	<p>ガイダンス</p> <p>【対面】授業の概要、目標、成績評価の方法、授業スケジュールを説明する</p>
第2回	<p>事前説明①</p> <p>【対面】講義の概要およびフィールドワークの意義や手法、手順などを体系的に説明する</p>
第3回	<p>事前説明②</p> <p>【対面】実際に調査を行う地域および対象について概要を説明する</p>
第4回	<p>調査準備①</p> <p>【対面】調査課題を設定する</p>
第5回	<p>調査準備②</p> <p>【対面】調査課題を設定する</p>
第6回	<p>調査準備②</p> <p>【対面】調査項目を検討する</p>
第7回	<p>調査準備③</p> <p>【対面】調査項目を検討する</p>

第8回	事前説明②本調査 【対面】本調査の要点、注意事項を説明する
第9回	フィールドワーク：本調査① 【対面】本調査を実施する
第10回	フィールドワーク：本調査② 【対面】本調査を実施する
第11回	事前説明③本調査 【対面】本調査の要点、注意事項を説明する
第12回	フィールドワーク：本調査③ 【対面】本調査を実施する
第13回	フィールドワーク：本調査④ 【対面】本調査を実施する
第14回	調査報告① 【対面】調査結果を報告資料に基づいて報告する
第15回	調査報告② 【対面】調査結果を報告資料に基づいて報告する

## 成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	
レポート	50%
その他	50%

成績評価の方法（コメント）	調査結果の報告（50%）および課題レポート（52%）によって評価する。
---------------	-------------------------------------

参考文献	テキストの購入は不要である。ただし、理解度を高めるために、次の書籍を紹介する。 佐藤郁哉著『フィールドワーク―書を持って街へ出よう』（増訂版）、新曜社、2006年 佐藤郁哉著『組織と経営について知るための実践フィールドワーク入門』、有斐閣、2004年
事前および事後学習の指示	事前学習：普段から社会経済的な事象や変化に関心を持つようにすること。そのために、社会経済関連の報道やニュースには目を通す習慣をつけること。 事後学習：①毎回の講義内容を振り返ること。 ②授業内で指示された課題（調査準備や調査結果の報告資料の作成）に取り組むこと。
その他備考（担当教員用）	授業日程の詳細については、春期のうちに周知する。
キーワード	調査の技法、インタビュー調査